

ねらい

○テレビやスマホ・ゲームが生活の一部になっているのが現状ですが、テレビやスマホ・ゲームがどのように視聴されたり使われたりしているかを出し合ひましょう。参加者同士が交流する中で、テレビやスマホ・ゲームをよりよく活用するための工夫について考えてみましょう。

時間	内容	主な活動	留意点
例： 計60分 00:10	はじめのことば 3つの約束確認 アイスブレイク	<p>「みなさん、こんにちは。ご多用のところ参加いただきありがとうございます。今日は、“テレビやスマホ・ゲーム”について、考えてみましょう。司会の〇〇です。よろしくお願いします。」</p> <p>「この会は、ともに楽しく学び合い、みなさんで作り上げていくものです。誰もが『参加してよかった。』と思える会にするために、協力していただきたい3つの約束があります。」</p> <p>① 参加 「積極的に話し合いに参加しましょう。全員が参加できるように、協力をお願いします。」</p> <p>② 尊重 「お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。他の参加者の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりしないようにしましょう。話したくないことは、パスしてもかまいません。」</p> <p>③ 守秘 「子育ての交流ですから、個人情報に関わる内容も出てきます。同じ時間を共有する者同士の信頼関係のうえで行われる交流です。決して口外しないようにしましょう。」</p> <p>「それでは、みなさん、私と一緒に心と体をほぐしましょう。」 「少し緊張していらっしゃるようですので、一緒にリラックスしましょう。」</p> <p>パースデーチェーンの応用 ・「昨日、どれくらいテレビを見ましたか？ジェスチャーで相談して、少ない順に座ってください。」</p> 	<p>◇笑顔で親しみやすい言動に努めましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があるとやわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなります。</p>  </div> <p>◇会を成功させるために、学習を始める前に参加者全員で「3つの約束」を確認しましょう。</p> <p>◇一人が話し過ぎないように、時間配分を考えながら、全員に話す機会を回すようにしましょう。</p> <p>◇「相手の目を見てうなずきながら聞くとか、相槌を打ちながら聞くなどすると、話す人も嬉しいですね。」と具体的な聞き方を伝えると分かりやすいでしょう。</p> <p>◇子育て中の親として、家族に関わることも話題になりますが、自由に話してもらうためにも、信頼関係が大切であることを理解してもらいましょう。</p> <p>◇アイスブレイクとは、参加者の不安や緊張を氷にたとえ、その氷（不安や緊張）を溶かすという意味をもった活動です。</p> <p>◇15ページ「7 アイスブレイクに活用できる簡単なゲーム」⑪参照</p>
00:40	ワークシ ョップ	<p>「それでは、緊張もほぐれたところで、お配りしたプリントの『こんなことはありませんか』をそれぞれお読みください。読み終わりましたら、お子さんのテレビやスマホ・ゲームの実態を交流しますので、ワークシートに記入してみてください。」</p>	<p>◇「こんなことはありませんか」については、詳細な説明はせずに、読んでいただくとうよいでしょう。</p>

		<p>グループディスカッション</p> <p><ワーク1> 「みなさん、書き終わりましたら、並んでいる順に、お子さんの様子をお話してください。」</p> <p>・時間は決めていても、延びてしまう。 ・お兄ちゃんと同じようにゲームをやる。 など</p> <p><ワーク2> 「みなさん、毎日お子さんのために奮闘していらっしゃる様子が伝わってきました。それでは、日頃テレビやスマホ・ゲームに関して、気をつけていることやお子さんと約束していることなどを交流しましょう。」</p> <p>・テレビまでの距離や視聴時間。 ・スマホの利用時間。 ・ゲームの約束が守れなければ使用禁止。 など</p> <p><ワーク3> 「いかがでしたか。いろいろなことに気を使っていらっしゃるんですね。今日から生かせそうですか。」</p> <p>「スマホに子守をさせないで！」を読んでみましょう。」</p> <p>「テレビやスマホ・ゲームの時間や内容を決めたり、ノーテレビデーやノースマホ・ゲームデーに挑戦したりしてみませんか？例えば資料にあるようなカードで試してみてもはどうでしょう。」</p> <p>「今、決まらなくてもいいですよ。お家に帰ってから家族で相談されて、決めたら資料のカードに記入してどこかに貼っておくのもいいですね。」</p>	<p>◇どんな話が出されているか、単にメモをとるとよいですね話している方を見て、うなずながら聞くようにしましょう。</p> <p>◇自由に家庭の様子を話せるように、進行役の方の困っていることや悩んでいることを話すともよいでしょう。</p> <p>◇グループごとに交流する際、「自分にもできそう。」「よい方法だなあ。」などと思った意見は、ワークシートの「いいね！」の欄にメモを取るとよいことを、事前に伝えておきましょう。</p> <p>◇資料編参照。 カードや「スマホに子守りをさせないで！」を印刷して配付するとよいですね。カードに記入するのは子どもと相談してからがよいでしょう。</p>
<p>00:10</p>	<p>ふりかえり</p> <p>おわりのことば</p>	<p>「私も～ようなことがあって、困ったことがありましたが、今日みなさんの意見にもあったように接していたらよかったですね。」</p> <p>「みなさん、今日参加されていかがでしたか。毎日、お子さんを目の前にして奮闘していらっしゃる皆様方にとって、少しでも気持ちが軽くなったり、何かヒントを得たりしていただけたならうれしいです。お話を伺っていて、本当にみなさんよくやっていたらいいなあと思いました。これからも、お困りのことがあれば、一人で悩まずにこのような機会を活用し、情報交換してくださいね。」</p>	<p>◇出された意見をまとめたり、結論を出したりする必要はありません。自分自身、こんなヒントをもらったというように、同じ立場で話すともよいでしょう。</p> <p>◇最後は、参加者の日頃のがんばりを認めることのみとし、指示やアドバイスをすることは避けましょう。</p>

